愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	山村 伸	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ（前学期）は基礎演習・総合演習で学んだスタディスキルにスポーツの観点を加えて活用することを目的とする。スポーツ心理学やスポーツに関連する物の中で自己の興味のあるテーマを設定し、それについて書籍・インターネットなどから情報を収集し、パワーポイントにまとめ発表する。また、フィールドワークにおいては企画の段階からディスカッションを通じ、学生が主体的に内容を決定することを期待する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	基本的には演習形式（対面授業）で行い、主にプレゼンテーション・ディスカッション（フィールドワークの企画、演習内発表会）を行う。ただし、状況によってはオンラインに切り替える場合がある。その場合の質問等の受付については改めて連絡する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	演習の目的、内容、評価方法などの説明	□
第2回	フィールドワークの企画1	フィールドワークについてディスカッションを行いテーマ・場所を決定する	□
第3回	フィールドワークの企画2	フィールドワークについてディスカッションを行い、内容・役割分担を決定する	□
第4回	フィールドワークの企画3	フィールドワークについてディスカッションを行い詳細・スケジュールを決定する	□
第5回	フィールドワーク実施	フィールドワークを実施する	□
第6回	フィールドワークの振り返り	フィールドワークについて振り返りを実施する	□
第7回	発表テーマの設定	プレゼンテーションのテーマを設定する	□
第8回	発表資料の収集	図書、インターネットを通じ発表に必要な資料を収集する	□
第9回	発表準備1	パワーポイント・発表原稿を作成する	□
第10回	発表準備2	パワーポイント・発表原稿を作成する（手直し含む）	□
第11回	発表準備3	パワーポイント・発表原稿を作成する（手直し含む）	□
第12回	演習内発表会１	演習内で発表会を実施する	□
第13回	演習内発表会2	演習内で発表会を実施する	□
第14回	ドッジボール大会の運営	ドッジボール大会の運営	□
第15回	まとめ	前学期の振り返りを実施し、後学期に繋げる	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作を習得する（2時間） 書籍・インターネット・メディアを活用しスポーツ科学に関する情報を収集する（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題に対するフィードバックは演習内で行い、情報を共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	自己の興味関心のあるテーマを設定し、それについて探求・発表することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

発表資料の作成、ドッジボール大会運営への貢献度

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ゼミで学ぶスタディスキルズ　南田勝也・矢田部圭介・山下玲子著　北樹出版	978-4-7793-0519-1
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		